

新型コロナの対応について(2021.7.12)

【新型コロナウイルスの特徴】

新型コロナウイルス(以下、「コロナ」という。)は、誰もが感染する可能性がある。

また、油断すると一定の条件が重なることで瞬く間に感染が拡大しクラスター発生につながるので注意が必要である。

さらに、重篤になる人も30代に下がっており、生死をさまようことや高齢者だけではなく死亡する方が2%と他の感染症と比べて死亡者数が高い感染症である。

このような特徴を持つことから、全国から集まる選手権大会開催に向けての発生予防の徹底と発生した際にすぐに対応していくために以下のことを遵守すること。

1.選手権大会の2週間前(潜伏期間対策)

大会2週間前からフロント、指導者や選手の保護者は、自宅外での酒類を伴う飲食等を自粛すること。また、選手を含めて日ごろの予防としてマスク着用、うがい、手洗いに努め毎日の体温を測る等健康管理し、大会初日に「健康管理実施状況申告書」(別紙2)を球場責任者に提出すること。

2.大会開催期間中の予防対策について

大会期間中は「新型コロナウイルス感染防止対策 新ガイドライン」(7月改訂版)及び別途定めた「[全国大会等における感染防止対策 球場運用細則](#)」(2021.7.12) - [球場運営・出場チームマニュアル](#) -を遵守し、感染予防対策に努めること。

3.大会期間中の発生について

対応が遅れると瞬く間に感染が拡大するので、発生直後に迅速な対応をとることで感染拡大を防ぐことができる。

大会期間中に感染が判明した場合は、感染した本人等が所属するチームの代表を通じて支部長に連絡し、支部長は速やかに大会本部に報告する。氏名等の個人情報は不要。発生した事実のみ報告すること。

なお、コロナ感染者や濃厚接触者は医療機関及び管轄の保健所の指示に従い、PCR検査を受けることになり、感染者及び濃厚接触者の行動規制等は、保健所の指示に従うこと。

よって、「どこのチームから出た」等々の詮索をしないことや不安を他に拡大させる行為や噂話、デマの拡声は厳に慎む。

発生報告を受けた大会本部は、直ちに対策会議を開催し、大会を続行するかどうかを速やかに判断するとともに、コロナ発生について大会関係者、大会に参加している全チ

ームに「選手権大会の参加者の中でコロナ感染者が確認された」ことを報告する。その際にチームを特定する情報は発出しない。

連盟本部として大会に参加しているチームを含め、すべての大会参加の関係者に対して、約2週間は熱を測る等の健康管理を徹底するように呼びかける。

また、今後、体調や症状に異常が見られた場合は、必ず各自で管轄の保健所に相談するか急ぐ場合は主治医等PCR検査を行う等早期対策に努めること。

3.大会終了後のコロナの発生について

大会終了後、コロナが発生した場合は、発病の3日前が大会期間中と被っている場合は、大会期間中と同様に感染した本人等が所属するチームの代表を通じて支部長に連絡し、支部長は速やかに連盟本部に報告する。

報告を受けた連盟本部は、全チームに「選手権大会参加者の中でコロナ感染者が確認された」ことを報告する。その際にチームを特定する情報は発出しない。

連盟本部は、大会に参加しているチームを含め、すべての大会参加の関係者に対して、約2週間は熱を測る等の健康管理を徹底するように呼びかける。

また、今後、体調や症状に異常が見られた場合は、必ず各自で管轄の保健所に相談するか急ぐ場合は主治医等PCR検査を行う等早期対策に努めること。

なお、大会を終えた帰宅後3日目以降に発病した場合も、大会期間中に感染した恐れもあるため報告をすること。連盟の対応は同様とする。

※選手権大会でコロナが発生した場合、連盟本部に対して保健所等からの疫学調査(感染者追跡調査等)への協力として、該当するチーム等の連絡先を伝えることがあることを事前にご了承ください。

◆コロナ対策 Q&A◆

Q1 大会期間中に選手が熱を出した場合は、その選手を外して試合に参加してもよいですか？

A1 熱=コロナとは限りません。熱中症や他の感染症、胃腸炎、緊張からくるもの等原因は様々なので、熱が出た選手を速やかに隔離し、病院を受診し、PCR検査を受検してください。大阪府ホームページにPCR検査を実施している病院等が記載されていますので、検査センターではなく必ず病院・診療所で検査を受けてください。なお、PCR検査を実施した選手と同部屋等の濃厚接触者は陰性結果が出るまでホテル待機とし結果が分かるまで大会には参加できません。

また、他に風邪症状者等がないかを確認してください。有症状者が3人以上あれば、大会参加は停止し、誰も有症状者がいなければ、チームは感染の可能性も考慮しつつ、食事時の感染予防、2mのソーシャルディスタンス、マスク、出入り時のこまめな手洗い等の「全国大会等における感染防止対策球場運営細則」を厳格に遵守して大会に

参加してください。

Q2 大会期間中に選手以外(大人)が医療機関を受診しPCR検査または医師の判断でコロナが強く疑われた場合はチームの活動等はどうなるのか?

A2 選手以外(大人)にコロナが強く疑われた場合は、PCR検査の結果が出るまで、そのチームの活動は一時停止とし、コロナを疑われている方は隔離し、他のチーム関係者は接触しないようにホテル等での待機となります。コロナを疑われる方の接触の状況によっては、試合参加できることもありますのでチームの代表は状況について、速やかに支部長を通じて大会本部までご報告ください。状況を聞いたうえで大会参加や行動について決定します。

Q3 コロナの感染が判明した場合は、他の選手、チーム関係者はどうなりますか?

A3 感染が判明した時点で必ず保健所から疫学調査・健康調査が入ります。保健所には、隠し事をせず、接触状況を克明に報告すること。そのうえで、保健所が濃厚接触者を特定し、濃厚接触者について健康状況等の聞き取りが行なわれ、特定された濃厚接触者はPCR検査を受けることとなります。

大会期間中であれば、規模に応じて大会中止の判断をせざるを得ない場合もあり、感染者が出た場合は、チームの活動は停止となり、その後の大会参加はできません。

※クラスターの発生や集団感染は、保健所の調査に際して接触者のことを言わない、隠す等の虚偽の回答等が、その後の感染拡大を招いてきました。したがって、保健所の調査には正確に回答願います。

Q4 濃厚接触者とはどのような人を指しますか?

A4 PCR検査を受ける濃厚接触者の例としては、同居親族及び、滞在中同部屋や食事の際に同行している方及びコロナ感染者の発病2日前以降と一緒に生活等を共にした人です。

大会に参加するチームでは、ホテル内の同部屋、食事時に話をしながら食べていた者、バス・電車等の移動中に周りにいた者、風通しの悪い場所やベンチ等でコロナ感染者の横でマスクなしで話をしていた者が当たると思われますが、接触状況や生活状況等を保健所に正確に報告したうえで保健所が濃厚接触者を特定します。

Q5 PCR検査で陰性の場合は問題なく大会参加していいのか?

A5 PCR検査は万全ではなく、偽陰性が出る場合もあります。PCR検査をした方が症状がある場合は、その方とその濃厚接触者については、大会参加はできません。あとはA1、A2と同様の扱いとします。

なお、後日PCR検査で陽性が出た場合は、連盟本部まで支部長を通じて報告願いま

す。